

2018年度 第108委員会活動報告書

第108委員会事務局 JBMIA

1. 第108委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	羽鳥 光俊
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	小原 章二
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要	主査	小原 章二
1-6. JIS C 6950-22 原案作成活動概要	主査	飯岡 茂幸
1-7. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要	主査	小原 章二
1-8. JIS C 62368-3 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-9. その他 Ad Hoc 委員会活動	主査	近藤 孝彦

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

委員長 羽鳥 光俊

1-1. 活動概要（全体）

2018 年度は、7 件の国際規格回答原案等について審議を行った。主な内容は、(1) に示すとおりである。国内規格については、(2) に示す 1 件の追補発行、1 件の新規 JIS 原案を JSA に提出するとともに、1 件の JIS 改正及び 1 件の新規 JIS 制定のための JIS 原案作成委員会を開催し、JIS 原案の検討を行った。MT1 分科会、MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討グループの活動の詳細は、各分科会活動概要の項参照。

(1) 国際規格対応について

2018 年度は、10 月に韓国／釜山にて、IEC/TC108 Plenary 及び HBSDT 会議が開催され、日本代表のエキスパート及びオブザーバが参加した。添付資料“(参考 1) 2018 年度国際会議出席者”参照。

TC108 から発行される審議文書については、下記 7 件の投票等を行った。

詳細は、添付資料“(参考 2) 2018 年度 TC108 審議・投票一覧”参照。

- ・ NP (New Work Item Proposal) : 0 件
- ・ CD (Committee draft for comment) : 0 件
- ・ DC (Document for Comments) : 4 件
- ・ CDV (Committee Draft for Vote) : 0 件
- ・ FDIS (Final Draft International Standard) : 1 件
- ・ DTR (Draft Technical Report) : 1 件
- ・ Q (Questionnaire) : 1 件

なお、5 月 14 日現在で開発中の規格はない。添付資料“(参考 3) 2018 年度国際規格_開発中”参照。

(2) 国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

次表に示す JIS を JSA に提出し、その後の対応を行った。詳細は JIS の原案作成活動の項目参照。

規格番号及び標題	2019 年 3 月末時点の進捗
JIS C 6065 : オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器－安全性要求事項（追補 1）	2019 年 3 月 20 日に発行された。
JIS C 6950-22 : 情報技術機器－安全性－第 22 部:屋外設置機器	2018 年 10 月に JIS 原案を JSA へ提出した。
JIS C 62368-1 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 1 部 : 安全性要求事項 (IEC 62368-1, Ed.3: 2018 対応)	2019 年 1 月 30 日に JIS 原案作成委員会を開催し、JIS 原案の検討を行った。(改正)
JIS C 62368-3 : オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器第 3 部 : 通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項 (IEC 62368-3, Ed.1: 2017 対応)	2019 年 1 月 30 日に JIS 原案作成委員会を開催し、原案の検討を行った。(新規)

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

上記の JIS C 6065 (追補 1) は電気用品安全法の技術基準の解釈、別表第十二として採用されるよう、2019 年 3 月に開催された電気用品調査委員会において、説明を行った。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 小原 章二

IEC 60065 『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求』の改訂提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1 (MT1) に対応する国内委員会であるが、IEC 60065, Ed.8: 2014 が、2014 年 6 月に発行され、MT1 の担当規格改訂作業は全て終了した。このため、特に分科会としての活動は行わなかった。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065, Ed.8: 2014 の Corrigendum 2 (コイン/ボタン電池に対する要求はリチウムに限定しない、など) が発行された以降、新たな検討事項はなく MT1 としての活動行わなかった。

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

前述のとおり、MT1 で取り扱っている規格の改訂予定はない。IEC 60065 に関連した Interpretation Panel への質問事項等は、HBSDT の国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。

(4) 2019 年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国/RTP (2019 年 4-5 月)
- ・ HBSDT 中国/上海 (2019 年 10 月)

1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

IEC 60950 『IT 機器の安全』パート 1 (一般要求) 及びパート 2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会である。IEC 60950-22, Ed.2: 2016 が、2016 年 1 月に発行され、MT2 の担当規格改訂作業は基本的に全て終了したが、MT2 が作成した規格に関連した審議が必要となった場合、HBS 分科会と協力して、MT-2 分科会の意見を反映する活動をしている。

(1) 国際規格対応について

MT2 担当の IEC 62102 規格を IEC62368-1 で使用している用語へ書き換えるための文書

(108/719/DC)が、発行されたため、HBS 分科会との合同分科会を開催し審議を行い、同文書に対し、日本コメント1件を提出した。

また、2018年度は、10月に韓国／釜山市で開催されたTC108/HBSDT会議へ参加し、その中で扱われた、EN60950-22に関連する解釈に係わる審議に参加した。

(2) 国内規格対応について

MT2分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

MT2担当のIEC 62102規格をIEC62368-1で使用している用語へ書き換えるための審議が継続されるため、HBS分科会と協力して対応していく。IEC 60950に関連した Interpretation Panelへの質問事項等は、HBSDTの国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。

(4) 2019年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国／RTP (2019年4-5月)
- ・ HBSDT 中国／上海 (2019年10月)

1-4. HBS分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

IEC 62368-1『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全』パート1及びそのシリーズ規格の制定及び改訂プロジェクト等を扱う IEC/TC108/HBSDT (ハザードベース規格作成チーム) に対応する国内委員会として、次の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

2017年に発行されたIEC 62368-3, Ed.1及び2018年に発行されたIEC 62368-1, Ed.3に対して改定等が必要な事項に対して審議を行い国際会議で提案するとともに、TC108が発行した文書に対する審議も行った。HBS分科会は2018年8月及び2019年3月の計2回開催した。韓国／釜山で開催されたTC108/HBSDT会議(2018年10月)に参加し、日本意見の反映を行った。

TC108が発行した文書に対する日本意見の概要は、下表の通りである。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/701/FDIS	IEC 62368-1 ED3: Audio/video, information and communication technology equipment - Part 1: Safety requirements IEC 62368-1第3版 (オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器—第1部：安全性要求事項) (108/688/CDVの審議結果を受けて作成したFDIS)	技術的なコメントを1件、編集上の修正のコメントを3件提出した。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/708/DTR	Proposal for revision of IEC TR 62368-2, ed. 2, Audio/video, information and communication technology equipment - Part 2: Explanatory information related to IEC 62368-1 IEC 62368-1 Ed 3 対応する説明情報で、要求事項の根拠を示した文書。（108/678/DC の内容に対応したものの。）	技術的なコメントを1件提出した。
108/719/DC	Proposal for revision of IEC/TR 62102 to transform the document to IEC 62368-1 terminology. IEC 62102 (Electrical safety - Classification of interfaces for equipment to be connected to information and communications technology networks) をIEC 62368-1の用語に書き換えを行うこととする改訂。	編集上の修正のコメントを1件提出した。

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368 シリーズ規格の問題点や新たに規定すべき事項を審議し、HBS 分科会において纏め、日本から積極的に国際会議で提案を行う。また、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。

IEC/TC108 が所管する、IEC 62368 シリーズに関連した規格の作成・改訂に関しては関連団体等とも連携を図り進める。

(4) 2019 年度国際会議予定

- ・ HBSDT 米国/RTP (2019 年 4-5 月)
- ・ HBSDT 中国/上海 (2019 年 10 月)

1-5. JIS C 6065 改正原案作成活動概要

主査 小原 章二

(1) 概要

IEC 60065, Ed.8: 2014 に対する CORRIGENDUM 2 が 2016 年に発行されており、これに対応する JIS C 6065:2016 追補版の JIS 原案の作成を行った。2018 年 7 月 6 日に JSA から経産省への申し出が完了し、2019 年 3 月 20 日に正式発行された。

また、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用については、2019 年 2 月 25 日の解釈検討第 2 部会を経て、2019 年 3 月 27 日開催の電気用品調査委員会にて別表第十二への採用を要望した。

(2) 今後の主要課題

電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用待ち。

1-6. JIS C 6950-22 原案作成活動概要

主査 飯岡 茂幸

(1) 概要

IEC 6950-22, Ed.2: 2016 が発行され、これに整合した新規 JIS の作成を行うために、JIS 原案作成検討会、JIS 原案作成分科会の審議を経て、JIS 原案作成委員会にドラフトを提案し、2018 年 10 月 4 日開催の JIS 原案作成委員会にて JIS 原案が承認され、2018 年 10 月 30 日に JSA へ JIS 原案を提出した。2019 年 4 月 5 日に JSA から経産省への申し出が完了した旨、連絡があった。

また、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用ニーズを確認するため、電気用品安全法対象機器の有無について第 108 委員会委員に対しアンケートを実施し、複数の対象有の回答を得た。これを受け、2018 年 11 月 28 日開催の電気用品調査委員会にて別表第十二への採用を要望した。

(2) 今後の主要課題

JIS が発行された後、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用に向け、電気用品調査委員会への対応を行う。

1-7. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要

主査 小原 章二

(1) 概要

IEC 62368-1, Ed.3: 2018 が発行され、これに整合した新規 JIS の作成を行うために、2018 年 4 月に JIS 原案作成検討会を発足し計 8 回の審議を行った。2019 年 1 月に JIS 原案作成委員会を発足させ、JIS 原案作成検討会を JIS 原案作成分科会に移行し 2 回の審議を行った。

(2) 今後の主要課題

作成した JIS 原案に対するコメントを審議し、原案を完成させ、2019 年 10 月までに JIS 原案作成委員会の承認、及び第 108 委員会の承認を得る必要がある。また、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用に向け、電気用品調査委員会への対応を行う。

1-8. JIS C 62368-3 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 62368-3 Ed.1.0: 2017 「オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器－第 3 部：通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項」が発行されたことを受け、これに対応する JIS 素案作成のため、2018 年 4 月に JIS 原案作成検討会を発足した。

12 月度までに計 8 回の審議を実施し、2019 年 1 月に発足した JIS 原案作成委員会に JIS 素案を提出。その後、JIS 原案作成分科会に作業を移行し、修正コメントに対する対処方針の審議を 1 回（計 9 回）実施した。

(2) 今後の主要課題

当初、本 JIS 原案は IDT とする予定であったが、IEC62368-3 の適用範囲が他分野の製品群も含んでいることから、JIS 原案作成委員会より適用範囲見直しの意見を受け、適用範囲を JIS では IEC62368-1 の適用範囲に限定し、MOD で作成する事になった。

JIS C62368-1 Ed.3: 2018 対応 JIS との同時発行のため、JIS 原案を 2019 年 10 月までに完成させ、JIS 原案作成委員会の承認及び第 108 委員会の承認を得る必要があることから、MOD を前提にした修正案を 5 月末までに JIS 原案作成委員会へ提出し、6 月末までに再度コメントを収集する予定。

1-9. タスクフォース及びアドホック活動

主査 近藤 孝彦

光放射-TF を 2018 年 7 月に開催し、IEC62368-1 Ed.3.0 対応 JIS の光放射に関連する部分を審議した。

付属書 M-TF を 2019 年 3 月に開催し、電池に関連する事項に対して審議した。

IEC 62368-1 に新規に入れるべき要求事項等に対してはアドホックグループを設けて、提案文書等を作成し国際会議にて提案した。

以上